

## 三菱 コンデンシングユニット用リモコンボックス [業務用]

RB-250

RB-250U

RB-250S

工事説明書（販売店・工事店様用）

# 1.安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。



**警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。



**注意**

誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

- お読みになったあとは、取扱説明書とともに、いつでも見られる所に必ず保管して、移設時に読み直してください。

## ⚠ 警告

据付けは、工事説明書にしたがって確実に行う。

- 据付けに不備があると、火災や感電の原因になります。

電気工事者による第3種接地工事を行う。

- D種(第3種)接地工事が不完全な場合は感電の原因になります。

配線は、所定の電線を使用して確実に接続し、端子台接続部に接続電線の外力が、伝わらないように確実に固定する。

- 接続や固定に不備があると、発熱・火災の原因になります。

水のかかるおそれのある場所には据付けない。

- 水がかかると、発火や感電の原因になります。

据付けは、質量に十分に耐える所に確実に行う。

- 強度の不十分な所に据付けると、ユニットが転倒落下により、ケガの原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。

- 電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。

ユニットの端子台カバー(パネル)を確実に取付ける。

- 端子台カバー(パネル)の取付けに不備があると、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

## ⚠ 注意

漏電遮断器を取付ける。

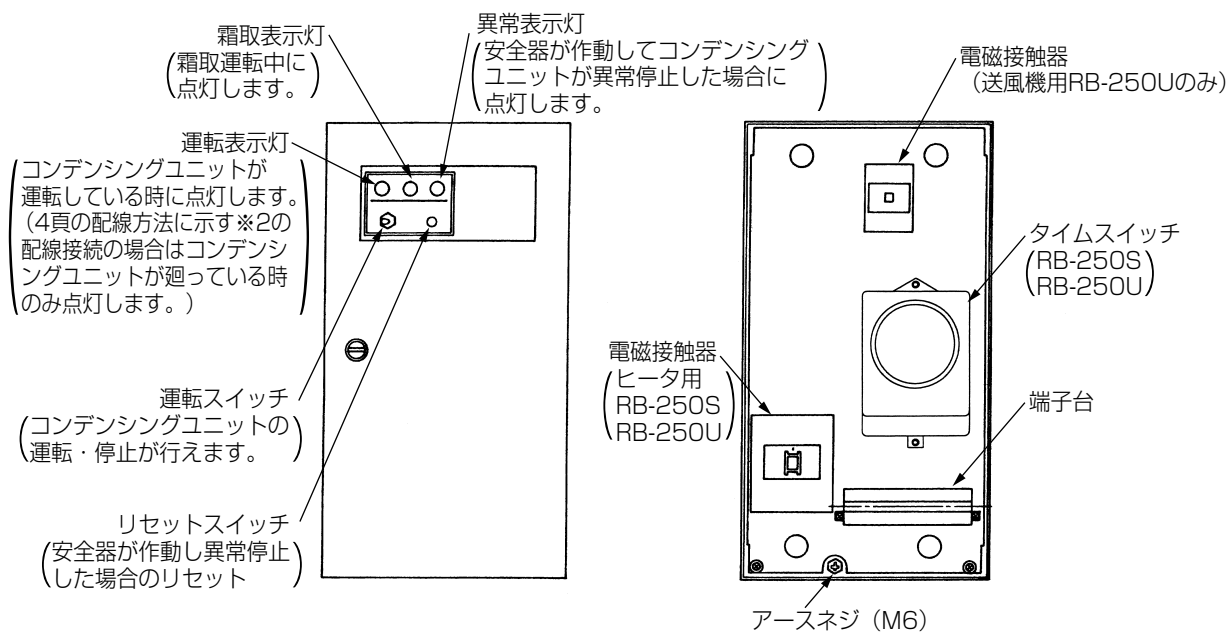
- 漏電遮断器が取付けられていないと、感電の原因になります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に据付けない。

- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。

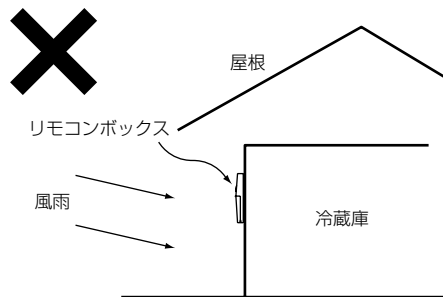
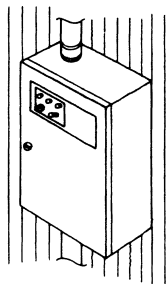
# 2.据付工事

## (1) 各部の名称



## (2) 取付工事

- ① リモコンボックスは、日頃運転操作しやすい屋内の壁面に取付けてください。



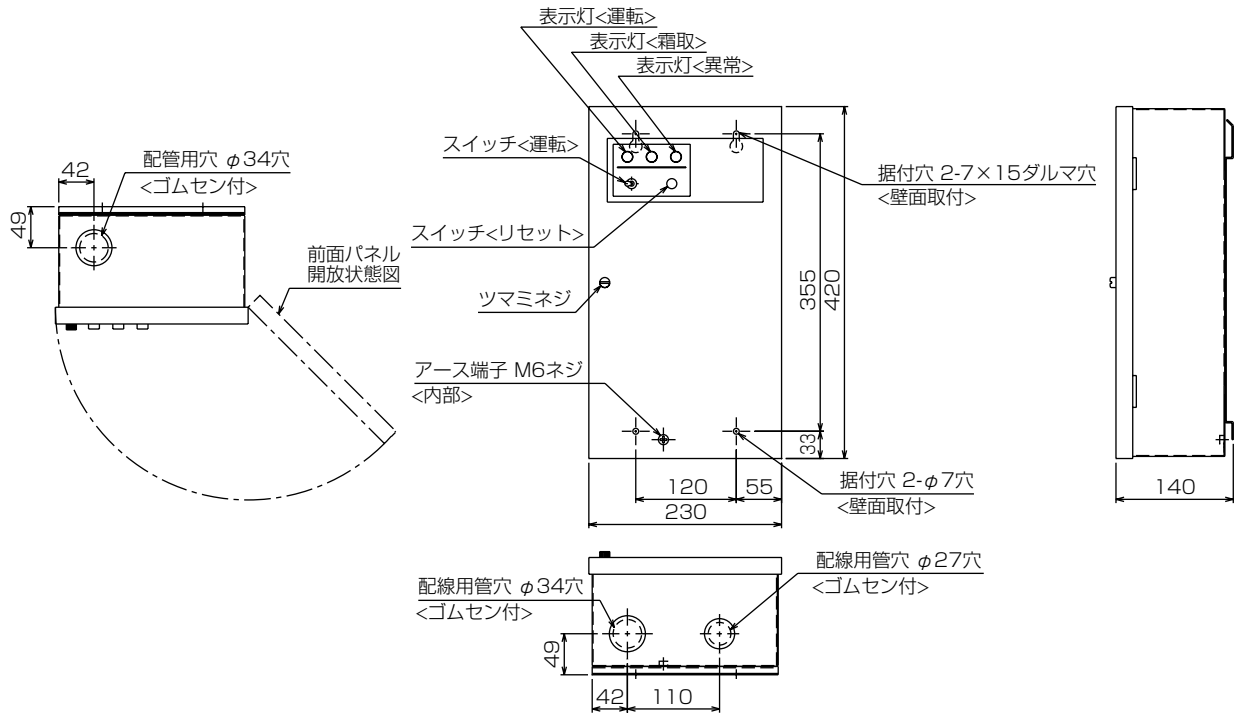
### ■注意事項

このリモコンボックスは屋内専用です。

### ■注意事項

リモコンボックスは上図右のような、風雨が直接かかる場所および冷蔵庫内等の結露する場所には据付けしないでください。

② 壁面取付ピッチ



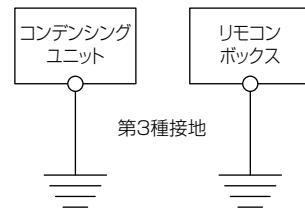
# 3.電気工事

(1) 電気工事

- ① 電気工事は、電気設備に関する技術基準（通産省令）および所轄電力会社の内線規程に従うほか、以下に説明する内容に基づき、電気工事を行ってください。（電気工事は、電気工事士の有資格者が行う必要があります。）
- ② 電源回路には、必要な開閉器等を「電気設備技術基準」および「内線規程」に従って設けてください。
- ③ 制御回路線は1.6φの600Vビニル電線を使用してください。

(2) アース工事

- ① 機器には第三種接地工事が必要ですので、アースをとってください。
- ② 接地は必ず専用接地としてください。（右図）



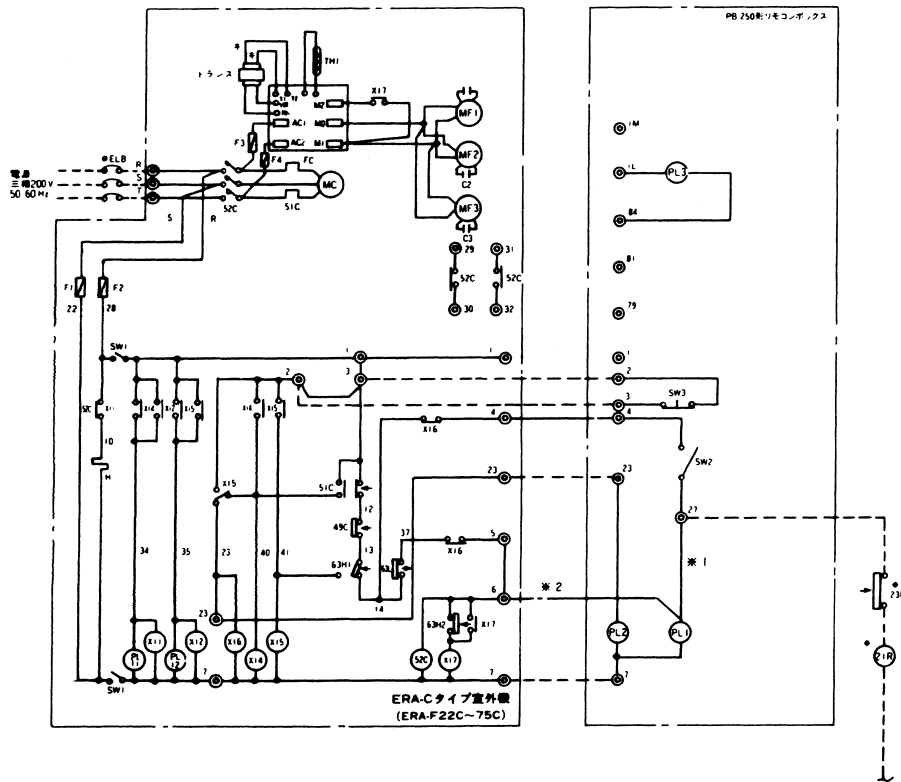
(3) 絶縁抵抗の測定

- ① 配線施工のあと必ず電路と大地間について絶縁抵抗を測定し、少なくとも1MΩ以上あることを確認してください。

# 4.電気配線図

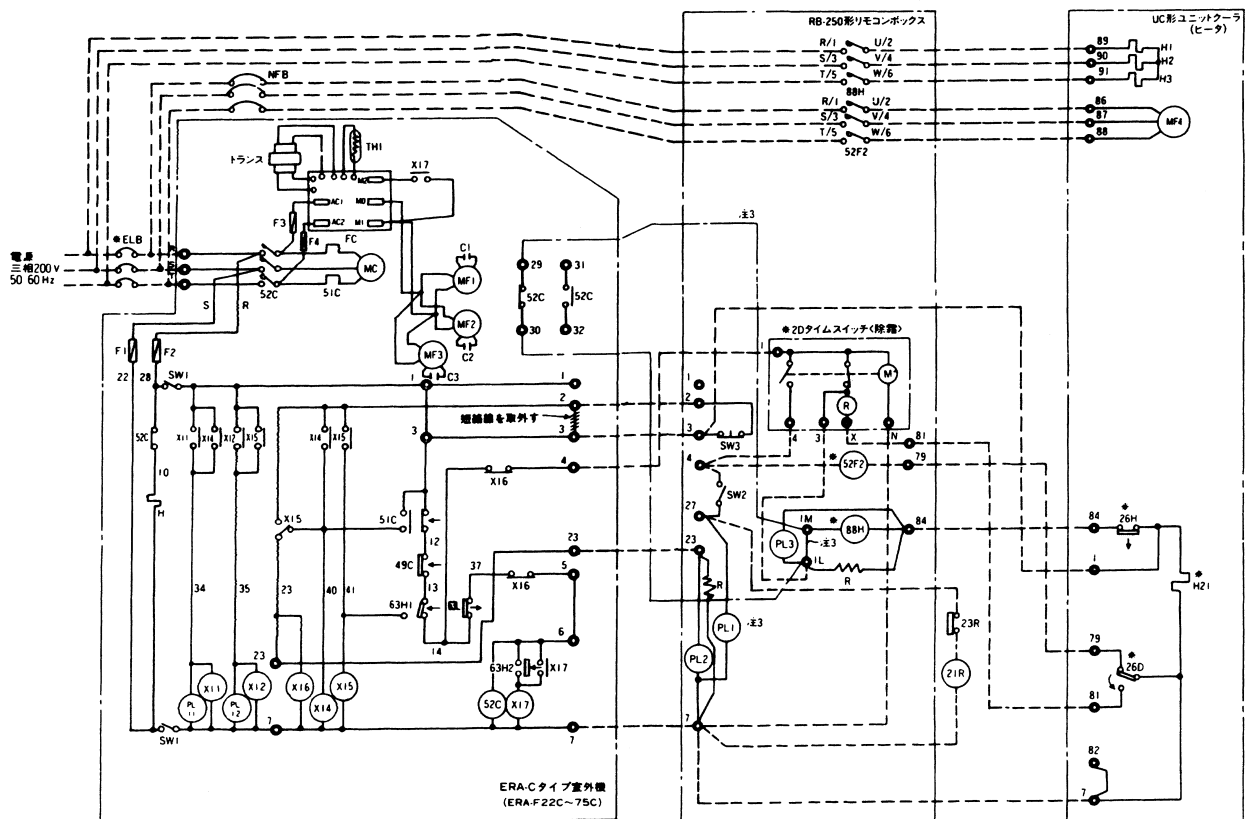
## (1) RB-250形

### ① RB-250形リモコンボックスの接続例



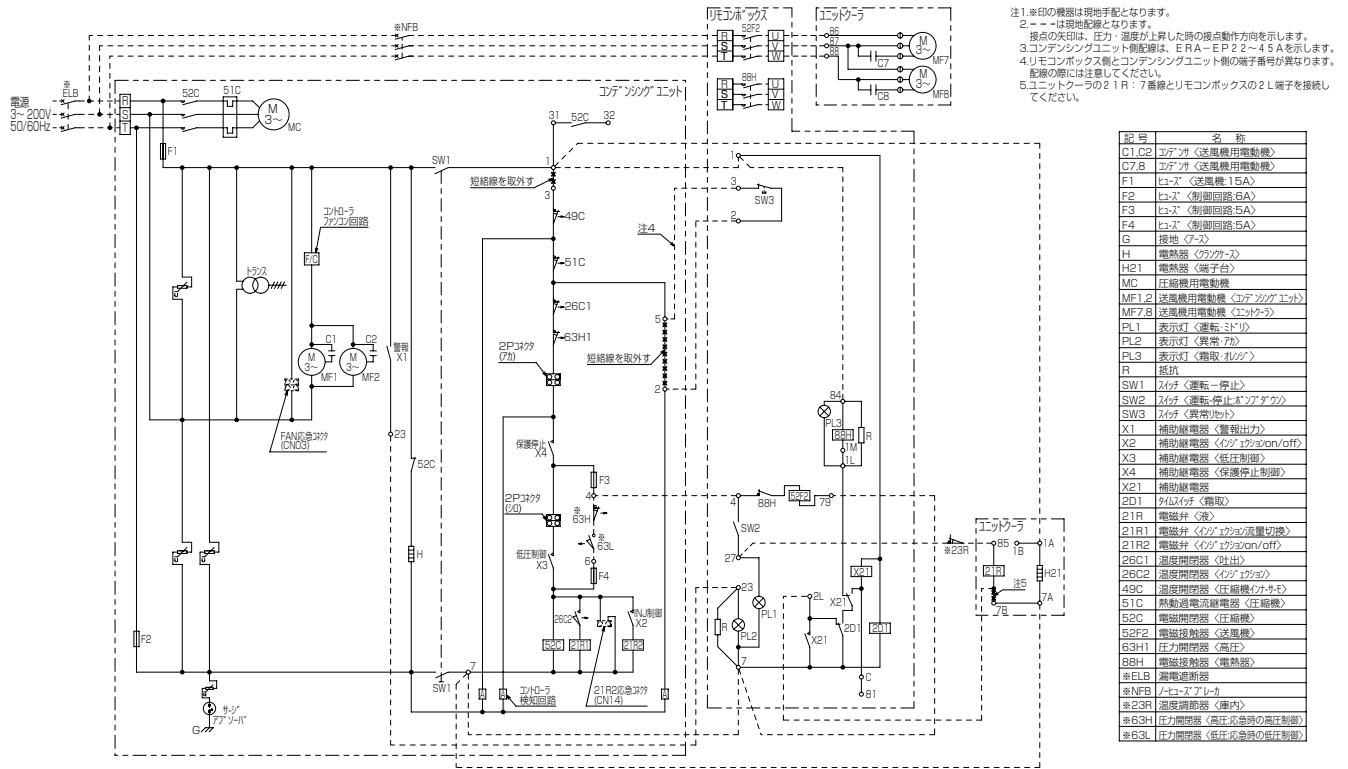
注 PL1 (運転表示灯・緑色) の結線は、コンデンシングユニット (圧縮機) がサーモ停止した場合でも点灯「運転スイッチ (入切) 表示」 (図中※1———で示す。) とコンデンシングユニット (圧縮機) が回っている時のみ点灯している「コンデンシングユニットの運転表示」 (図中※2-----で示す。) の2通りの使い分けができます。(※2の結線で使用する場合は必ず※1の結線を外してください。)

### ② RB-250形にパラゴタイマ (8145形) 組込んだ接続例

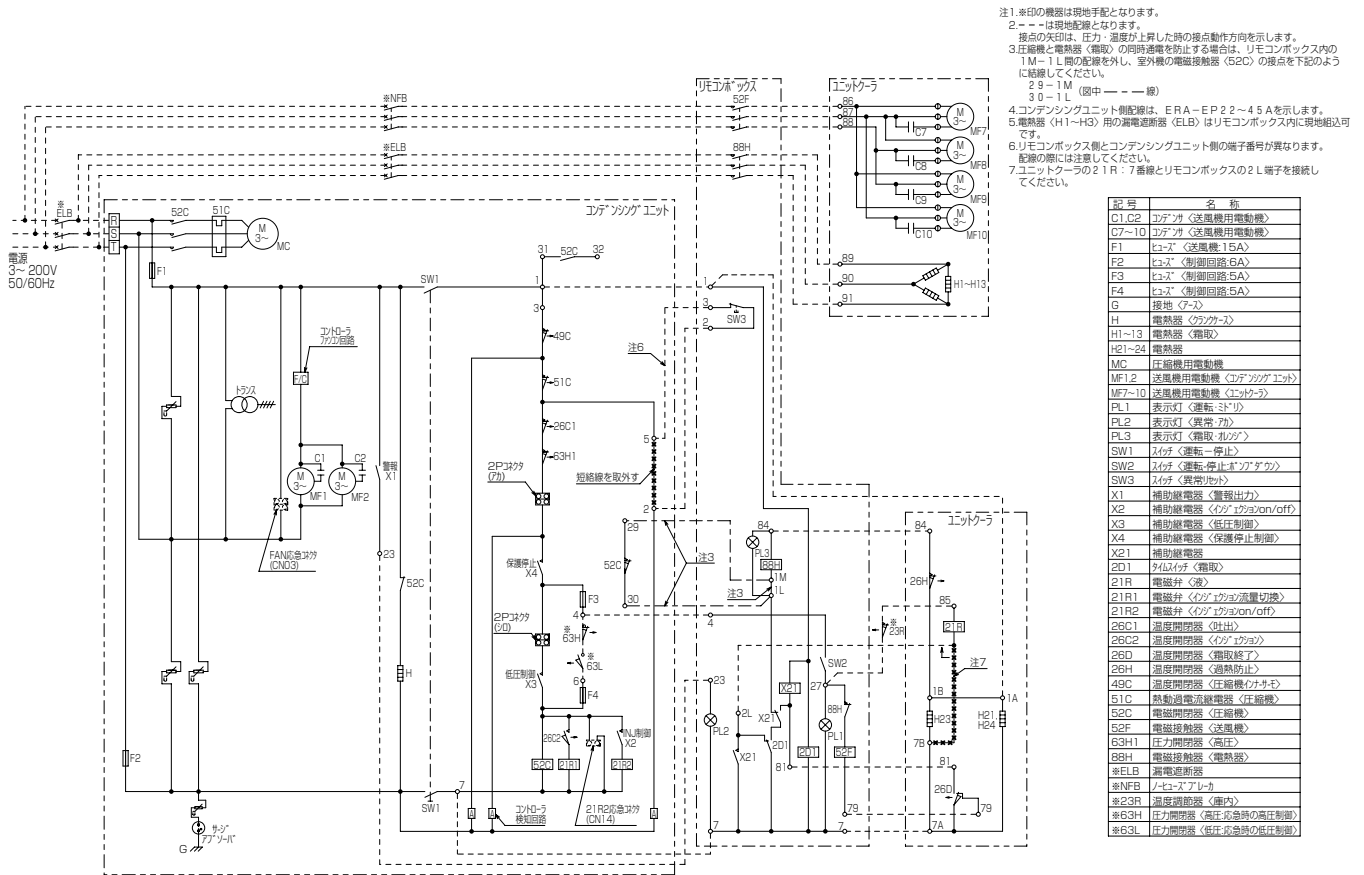


(2) RB-250U形

① オクサイクルデフロストタイプクーラとの接続例

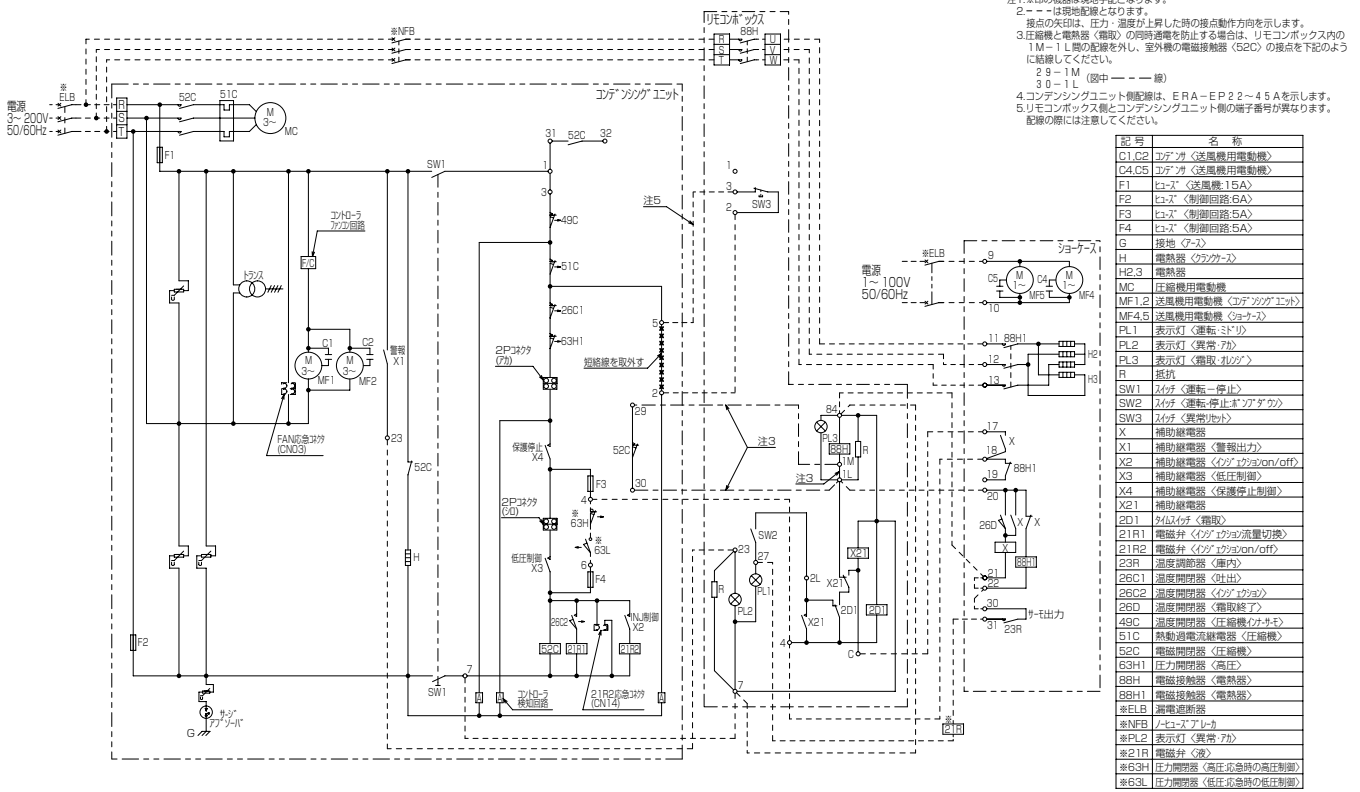


② ヒータデフロストタイプクーラとの接続例

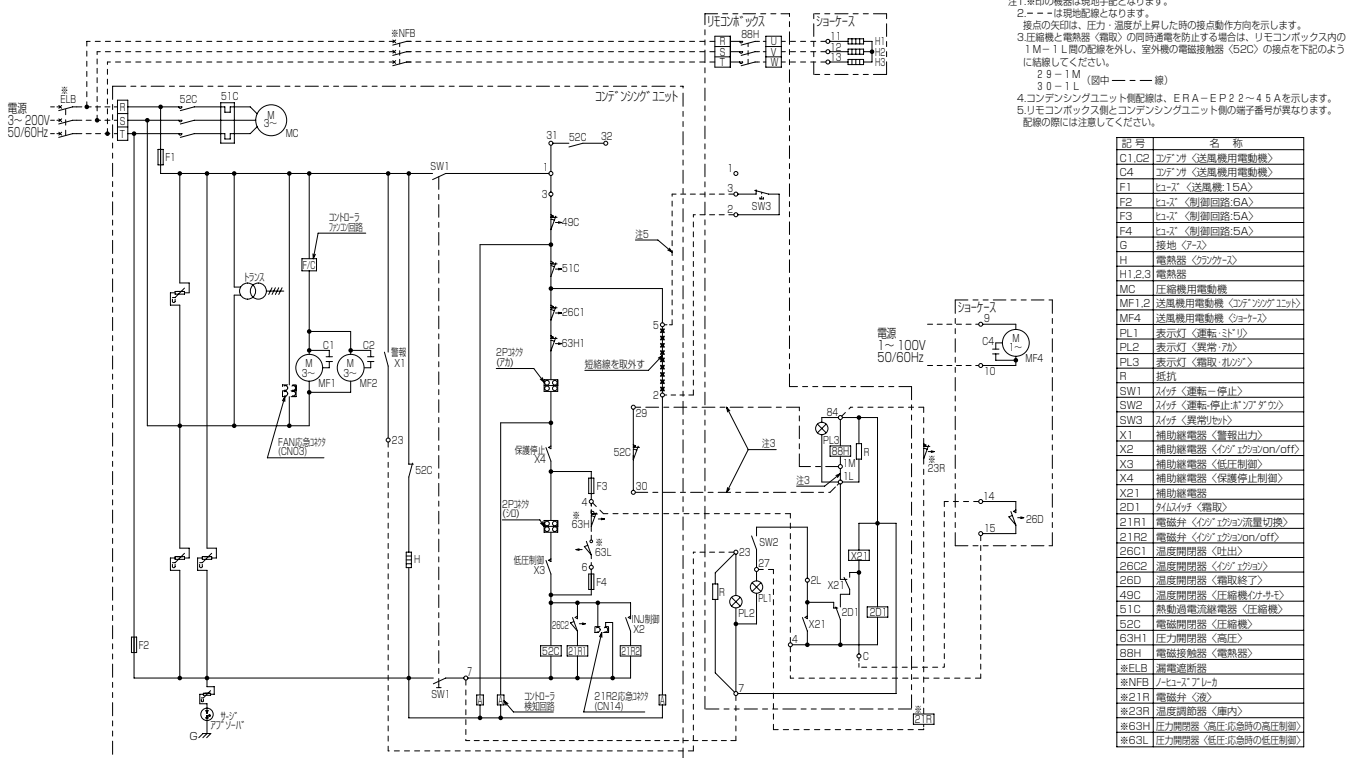


(3) RB-250S形

① 三菱ショーケース (1台) との接続例

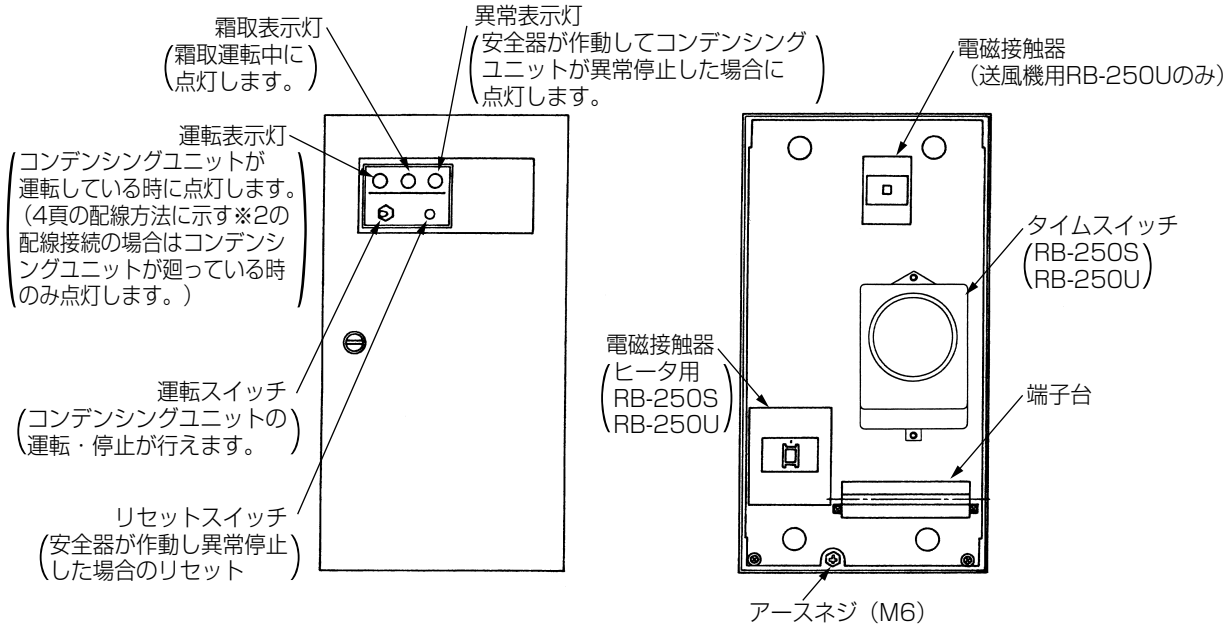


② 霜取終了サーモが独立したショーケースとの接続例



# 5.ご使用方法

## (1) リモコンボックス各部の名称と操作方法



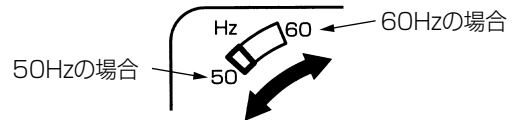
- 運転開始** 運転開始時は、運転スイッチを「入」にしてください。運転ランプ（緑色）が点灯し、コンデンシングユニットが運転します。
- 運転停止** 運転停止時は、運転スイッチを「切」にしてください。運転ランプが消灯し、数分後にコンデンシングユニットがポンプダウン停止します。（4頁※2の配線接続の場合、運転ランプは、スイッチ「切」数分後に、コンデンシングユニットの停止とともに消灯します。）
- リセット** 安全器が作動して異常表示灯が点灯している時には、異常の原因を排除し、リセットスイッチを押せば運転を再開できます。

※安全器が作動して異常表示灯が点灯した場合、その異常になった原因を調査し、対策する必要があります。工事店またはサービス担当会社にご連絡ください。

## (2) タイムスイッチのセット

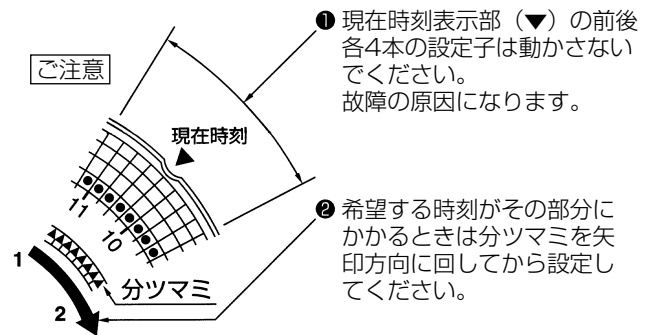
### ① 周波数のセット

タイムスイッチの向かって左上にある周波数切換レバーを、ご使用になる地区の電源周波数に応じて右図のように（例えば50Hz地区では50Hzの表示側に）切換レバーをセットしてください。



### ② 動作時刻のセット

希望する時刻間にある設定子をダイヤルの内側（切）または、外側（入）に倒して設定します。分ツマミは1本倒せば15分間霜取します。

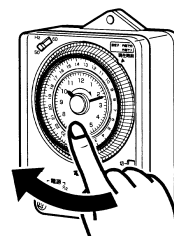


・霜取回数と時間（分ツマミの引出し本数）  
霜取回数と時間は次の表を目安にセットしてください。

用途	冷蔵用	冷凍用	時間
ショーケース(多段)	6回/日以上	3回/日以上	45分(分ツマミを3本倒す)
ショーケース(平形)	2回/日以上	2回/日以上	45分(分ツマミを3本倒す)
ユニットクーラ	4回/日以上	4回/日以上	45分(分ツマミを3本倒す)

### ③ 時刻合わせ

分ツマミを矢印方向へ回して現在時刻を合わせてください。



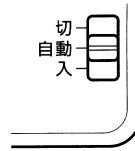
#### ご注意

- ・分ツマミは必ず矢印方向に回してください。無理に逆転させると故障の原因になります。
- ・ダイヤルを直接回さないでください。故障の原因になります。
- ・ダイヤルの時刻表示は24時間制です。午前と午後を間違えないでください。



④ 手動スイッチの設定

手動スイッチを「自動」の位置にしてください。  
 「自動」:設定した動作時刻に従ってON/OFFします。  
 「入」:動作時刻に関係なくONになります。(連続入)  
 「切」:動作時刻に関係なくOFFになります。(連続切)



(3) 動作順序

① RB-250U

**セット例** 8:00霜取開始、霜取所要時間を20分とすると、分ツマミは8:00からの3本を倒す。

8:00 分ツマミによりタイマ接点が作動し、電磁弁21Rが閉じる。  
 コンデンシングユニットはポンプダウン運転に入り、数分後63L開閉器(低圧側)が開となり、停止する。  
 88H電磁接触器(ヒータ用)が励磁され霜取ヒータに通電される。  
 52F電磁接触器(ファン用)が消磁されファンが停止する。

8:20 霜が取れ霜取ヒータにより温度が上がると、26D温度開閉器(霜取終了)が反転し、  
 補助リレーX2が動作し、霜取ヒータを切り、電磁弁21Rを開きコンデンシングユニットを運転する。  
 コンデンシングユニットが運転され数分後に26Dが再び反転し52Fが励磁されファンが運転されて冷却運転に入る。

8:45 分ツマミによりタイマ接点が元の状態に戻る。

	8:00	8:20	8:45
コンデンシングユニット 52C	ON	OFF	ON
電磁弁 21R	ON	OFF	ON
ヒータ 88H	OFF	ON	OFF
ファン 52F	ON	OFF	ON
温度開閉器 26D	OFF	ON	OFF
分ツマミ	OFF	ON	OFF

② RB-250S形

**セット例** 8:00霜取開始、霜取所要時間を25分とすると、分ツマミは8:00からの3本を倒す。

8:00 分ツマミによりタイマ接点が作動し、電磁弁21Rが閉じる。  
 コンデンシングユニットはポンプダウン運転に入り、数分後63L開閉器(低圧側)が開となり、停止する。  
 88H電磁接触器(ヒータ用)が励磁され霜取ヒータに通電される。

8:25 霜が取れ霜取ヒータにより温度が上がると、26D温度開閉器(霜取終了)が反転し、  
 補助リレーX2が動作し、霜取ヒータを切り、電磁弁21Rを開きコンデンシングユニットを運転する。

8:45 分ツマミによりタイマ接点が元の状態に戻る。

	8:00	8:25	8:45
コンデンシングユニット 52C	ON	OFF	ON
電磁弁 21R	ON	OFF	ON
ヒータ 88H	OFF	ON	OFF
温度開閉器 26D	OFF	ON	OFF
分ツマミ	OFF	ON	OFF

**ご注意** 霜取の必要回数および所要時間は、ショーケースやユニットクーラの使用条件により変わりますので、  
 現地の使用状態に合わせてセットしてください

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口(別添)にお問い合わせください。

**三菱電機冷熱相談センター**

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

# 三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

WT01104X09